

調査の観点	東京書籍	帝国書院
<p>1 内容 (1) 発達段階に即している (2) 興味・関心を引き出す配慮 (3) 本市の学力の実態へ配慮</p>	<p>(1)・ページ数も多く、写真やグラフ等も大きく全体としてゆったりとした構成になっている。 ・地図だけでなく統計資料が豊富で、調べ学習などに活用することができる工夫がされている。 (2)・色調を落とし、全体的に落ち着いた作りになっている。 ・写真やグラフを大きめにとり、新しい資料が豊富に掲載され、地図等と組み合わせた構成となっている。 ・6名のキャラクターを配置し、生徒が親しめるような配慮がされている。 (3)・農産物・水産物などの産地地図では、文字や一部イラスト等を活用し、イメージ化できる工夫がなされている。 ・幅広い学力層の生徒たちに対応するために、資料のページを増やし、写真やグラフを大きく見やすくしてある。 ・統計資料のスペースをゆったりととり、見やすくする等の工夫をしている。</p>	<p>(1)・全体のページ数における地図のページ数の割合が高く、資料・統計はコンパクトにまとめられている。 ・地図中に歴史に関する記載も多く、歴史の学習にも活用できる工夫がされている。 (2)・全体的に明るい色合いの構成となっている。 ・世界の各州や日本の各地方では、ページ数の割合を変えることで、重要な部分を強調している。 ・地図中にイラストを多用し、生徒が親しめるような配慮がされている。 (3)・農産物・水産物などの産地地図では、実物のイラスト等を活用し、イメージできる工夫がされている。 ・幅広い学力層の生徒に対応するために、写真・イラスト・グラフを多く使用している。 ・統計資料のページは、項目を多くし、幅広い学習活動に対応できる配慮をしている。</p>
<p>2 構成及び分量 (1) 内容の組織配列、発展的記述 (2) 発達段階に配慮した分量 (3) 基本事項の押さえと補充教材 (4) 発展教材への配慮</p>	<p>(1)・ヨーロッパ州がアフリカ州の前に配置してある。(2)参照。 (2)・184ページ、折り込み地図3枚。全ページ中の地図のページの割合 → 59.2% 【内訳】 ○ 巻頭資料 18ページ ① アジア州 18ページ ② ヨーロッパ州 12ページ ①～⑤ ③ アフリカ州 6ページ 世界合計 54ページ ④ 南北アメリカ州 12ページ ⑤ オセアニア州 6ページ ① 九州地方 7ページ ② 中国・四国地方 8ページ ③ 近畿地方 8ページ ①～⑦ ④ 中部地方 8ページ 日本合計 55ページ ⑤ 関東地方 10ページ ⑥ 東北地方 5ページ ⑦ 北海道地方 9ページ ○ 巻中・巻末資料等 34ページ ○ 統計資料 10ページ ・地形等 出典「理科年表」平成26年 ・気候等 出典「理科年表」平成26年 ・人口等 出典 不明 2012年 ○ 索引 13ページ</p> <p>(3)・地図のページの割合が相対的に低く、資料が多く、資料集的側面も併せもっている。特に、「アジアNIESの輸出品の変化(P26)」、「ヨーロッパ統合の歩み」(P45)、「アメリカ工の工業生産額に示める各地域の割合」(P62)のグラフ等は、テーマごとに処理されている資料である。 (4)・「ジャンプ」(58ヶ所) → 関連ページを示している。 ・(タイトルなし)キャラクターが出題する課題(15ヶ所)→平易な言葉で出題している。 ・「○○で注目したい記号」(33ヶ所)→地図を見るポイントを示している。</p>	<p>(1)・アフリカ州がヨーロッパ州の前に配置してある。(2)参照。 (2)・176ページ、折り込み地図3枚。全ページ中の地図のページの割合 → 64.8% 【内訳】 ○ 巻頭資料 18ページ ① アジア州 22ページ ② アフリカ州 4ページ ①～⑤ ③ ヨーロッパ州 12ページ 世界合計 56ページ ④ 南北アメリカ州 12ページ ⑤ オセアニア州 6ページ ① 九州地方 6ページ ② 中国・四国地方 6ページ ③ 近畿地方 10ページ ①～⑦ ④ 中部地方 12ページ 日本合計 58ページ ⑤ 関東地方 12ページ ⑥ 東北地方 5ページ ⑦ 北海道地方 7ページ ○ 巻中・巻末資料等 26ページ ○ 統計資料 9ページ ・地形等 出典「理科年表」平成27年 ・気候等 出典「理科年表」平成27年 ・人口等 出典 Demographic Ywarbook 2013年他 ○ 索引 9ページ</p> <p>(3)・地図帳としての機能を重視し、資料はコンパクトにまとめている。基本図の中に同縮尺の日本を掲載(P42,P57,P58,P60,P66)、東京を掲載(P133)、沖縄を掲載(P138)は、それぞれの地域を生徒がイメージすることに効果的である。 (4)・「地図を見る目」(22ヶ所) → 広い視点で、地図を見るポイントをアドバイスしてある。 ・「やってみよう」(42ヶ所) → 地理的な用語を用いて出題してある。 ・「？」(11ヶ所)→資料図の上段に記載してある。</p>
<p>3 表記及び表現 (1) 生徒にとって読みやすい表現 (2) 印刷、写真等の見やすさ</p>	<p>(1)・国名・都道府県名の表記 → 赤字に白の縁取り文字で記載されている。ルビの文字が太い。 ・世界の大州界の区分がなされている地図となされていない地図がある。 (2)・色彩の明度が低く、落ち着いた印象である。全体的に色のコントラストが弱い。 ○写真 → 大きな写真が多い。 ・日本+統計 → 大きな写真で枚数も多い。 ○イラスト(キャラクター、地図記号等は除く) ・世界 → ほとんど使用されていない。 ・日本+統計 → 使用数は少ない。単独で使用する人が多い。</p>	<p>(1)・国名・都道府県名の表記 → 赤字に黒の縁取り文字(一部白の縁取りあり)で記載されている。ルビの文字が細い。 ・世界の大州界の区分はすべての地図でなされている。 (2)・色彩の明度が高く、明るい印象である。色のコントラストが強い。 ○写真 → 小さな写真が多い。 ・日本+統計 → 小さな写真が多い。枚数は少ない。 ○イラスト(キャラクター、地図記号等は除く) ・世界 → 多く使用している。地図とセットで使用する人が多い。 ・日本+統計 → 多く使用している。地図とセットで使用する人が多い。</p>

発行者名 調査の観点	東京書籍	帝国書院
<p>4 使用上の便宜 (1) 全体の構成が見渡せるよう配慮 (2) 課題発見、解決に向けた学習が効果的に進められる配慮 (3) 印刷、装丁への配慮 (4) 地域性への配慮</p>	<p>(1)・目次の色分け 世界→7色で分類、日本→8色で分類 (2)・「ジャンプ」(58ヶ所) は関連ページをすぐ見つけることができる工夫がされている。 ・(タイトルなし)キャラクターが出題する課題(15ヶ所)は、生徒目線の平易な言葉で出題されているが、大きく捉えた発問のため、難易度は高い。 (3)・色彩の明度が低く、落ち着いた印象である。全体的に色のコントラストが弱い。装丁は適切である。 (4)・八王子市に関する特別な記載はない。 ・2020東京オリンピック・パラリンピックの記載あり。(P111/112) ・東京の中心部の地図(1枚)</p>	<p>(1)・目次の色分け 世界→1色で分類、日本→1色で分類 (2)・「地図を見る目」(22ヶ所) は、地理的にその地図を見る視点を示している。 ・「やってみよう」(42ヶ所)は、地理的な用語を用い、出題が具体的である。 ・「？」(11ヶ所)→資料図の上段に記載している。大きく捉えた課題設定である。 (3)・色彩の明度が高く、明るい印象である。色のコントラストが強い。装丁は適切である。 (4)・八王子市に関する特別な記載はない。 ・2020東京オリンピック・パラリンピックの記載あり。(P119/120) ・東京の中心部の地図(2枚) ・関東地方で、江戸時代の地図あり。(P120)</p>
<p>5 重点調査項目 (1) 調査・討論など多様な学習活動を進めるにあたって、基本図や資料図は適した内容になっているか。</p>	<p>・基本図が扱う地域や分量は適切である。 ・編集の傾向として基本図のページには、他の要素をあまり加えず、地図と資料を分離し掲載し、資料集的側面も重視した作りとなっている。 ・資料図では、世界の鳥瞰図(P21～22/P37～38/P61～62)は、陸上と海底が併記されている。都市名等が示されていない部分がある。 ・世界各州の自然を示す資料図では、土地利用の区分を示す色分けが、中間色を多用しており区分が見分けにくい傾向にある。 ・日本の各地方の自然を示す資料図は、同色の明暗を用いて示されており、平面的である。</p>	<p>・基本図が扱う地域や分量は適切である。 ・編集の傾向として基本図のページに、他の関連要素を加味する傾向にあり、地図帳として地図のページを充実させる工夫がされている。 ・資料図では、世界の鳥瞰図(P25～26/P51～52/P63～64)は、陸上のみ記載されている。都市名やイラストが記載されており読み取りが容易である。 ・世界各州の自然を示す資料図では、土地利用の区分を示す色分けが鮮明で区分が見分けやすい。イラスト等を活用し、地域の特色をつかみやすくなっている。 ・日本の各地方の自然を示す資料図は、立体感がある。鉄道の路線や、イラストを用いての各地の様子が示されている。</p>
<p>(2) 多様な学習活動を展開するために、統計的資料(統計地図・グラフ・表等)が充実かつ使いやすいか。</p>	<p>○統計地図・グラフ・表の内訳 ・掲載されている統計地図は少ないが、大きく表記されている。国別の分布を占めず地図で国名表示がないものがある。(例P53) ・資料・統計編 扱うページ数が多く、掲載数も多い。 ・統計グラフ数 世界 農林水産業 24品目 鉱工業 12品目 日本 " 26品目 " 10品目</p> <p>○全体としてゆったりとした編集になっている。巻末の資料は、53ページを割き、ゆとりをもたせた構成となっている。 《特徴的な資料等》・高山気候(P10) ・ODA(P14) ・西アジア・中央アジア(P35～36) ・アメリカの地域別工業生産(P62) ・京町家(P98) ・静岡茶(P106) ・観光(P153) ・ご当地キャラ(P154) ・都道府県の産品と名所・お国自慢(P180)</p>	<p>○統計地図・グラフ・表の内訳 ・掲載されている統計地図は多いが、小さい表記となっている。 ・資料・統計編 扱うページ数が少なく、掲載数も少ない。 ・統計グラフ数 世界 農林水産業 24品目 鉱工業 24品目 日本 " 28品目 " 14品目</p> <p>○傾向として、世界編・日本編に付属する統計地図やグラフが充実している。巻末の資料は、37ページの間に凝縮して掲載しており、図や統計表が細かい。 《特徴的な資料等》・民族衣装(P15～16) ・あいさつ(P17)大陸からみた日本(P31～32) ・インドの資料(P39～40) ・シェールガス(P65) ・京都・奈良(P95) ・琵琶湖(P101) ・東海道(P103～104) ・富士山(P110) ・名古屋中心部(P111) ・江戸(P120) ・東京都の中心部(P121～122) ・季節風(P141) ・プレート図(P143)</p>